



とちぎ 地域・森づくり フォーラム

～ 里山発！地域活性の新たな物語 ～

- ▶ 日時 令和8年2月20日(金) 13:30～16:00(13:00受付)
- ▶ 会場 栃木県庁 研修館4階講堂 申込期限 2月5日(木)
- ▶ 駐車場 栃木県庁地下駐車場(必ず駐車券を会場までお持ちください)
- ▶ 対象 どなたでもご参加いただけます ※申込方法は裏面をご覧ください
- ▶ 定員 100名(先着順)

美しい風景とともに、里山が育んできた恵みを活かし未来へとつなぐ取り組みの事例を発表します。

里山から生まれる恵み、そして人の輪。ここから広がる“地域活性の新たな物語”をぜひ感じてください。

プログラム

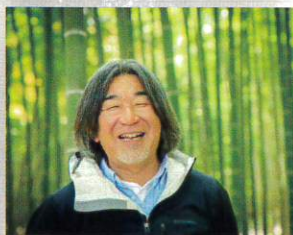
13:30 開会

13:40 【第1部】基調講演

株式会社ワカヤマファーム 代表取締役 若山 太郎 氏

「竹の利活用」

1968年宇都宮生まれ。東京農業大学卒業後、東京都内の造園設計・施工管理会社勤務を経て現在、株式会社ワカヤマファーム代表として筍と栗の生産販売、竹苗生産販売を生業とし、現代的な空間の中への竹植栽を押し進めている。また、ここ数年は見渡す限りに手入れされた竹林を一般開放し、自然文化、人々の交流を楽しみながら里山の体験型余暇活動の魅力を感じてもらい、竹林の観光資源としての新たな活用に挑戦している。



15:20 【第3部】パネルディスカッション

・コーディネーター

高橋 俊守 氏

国立大学法人 宇都宮大学
地域デザイン科学部 教授



・パネリスト

若山 太郎 氏
佐藤 昭二 氏
阿久津 瞳 氏
岡本 和久 氏
栃木県環境森林部 森林整備課長

14:30 【第2部】事例紹介発表

NPO 法人馬頭里山本舗 佐藤 昭二 氏

1961年生まれ。宇都宮大学農学部林学科を卒業後、那須南森林組合技能職員として働く。平成26年林業カレッジ研修を修了し、平成30年から「よろこびの森」を含めた一帯の森林をエリアとする多面的活動を実施。今年度から森林資源を活用するため、バイオマス燃料となるチップ材の生産や、落ち葉採取により堆肥を生産している。「よろこびの森」の中には、多数の彫刻があり、森の学校やコンサートが開かれ、隣接地の休耕田は「やつだ」として復活。里山林を活用した有機農業を実践している。



森のハーブ弾き 阿久津 瞳 氏

芳賀町生まれ。2011年 宇都宮大学農学部森林科学科卒業。3年間、自然ガイドとして活動しながらハーブを習い、その後アイルランドに渡り1年間アイリッシュハーブを学ぶ。2017年より宇都宮市でハーブ教室「竖琴教室 林音」を主宰。2022年 宇都宮大学大学院地域創生科学研究科修了。2024年より大田原黒羽教室をオープン。国産材ハーブ「森の竖琴」の企画販売、演奏活動を行うことで、日本の木を使うことの大切さを伝えている。国産材ハーブと自然音がコラボしたCD「竖琴の森」を2024年リリース。



16:00 閉会

【主催】栃木県 【後援】宇都宮大学
【問い合わせ先】公益社団法人 とちぎ環境・みどり推進機構

〒321-0974 栃木県宇都宮市竹林町1030-2

TEL: 028 (624) 3710 (平日9時から17時まで: 土日祝日は休み) FAX: 028 (643) 6802

E-mail: tochi-green@t-kms.sakura.ne.jp HP: https://t-kms.sakura.ne.jp

本事業は、
とちぎの元気な森づくり県民税
を活用して実施しています。

